



大腸ESDの現状と課題

～広島GI内視鏡リサーチグループの治療成績から～

日時 2024年9月10日(火)19:00～20:00

場所 呉医療センター
管理棟4階地域医療研修センター1・2

座長 呉医療センター
医療技術研修センター一部長

吉田 成人

講師 広島大学大学院 医系科学研究科
消化器内科学 教授
岡 志郎 先生



内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）は大きさにかかわらず腫瘍の完全一括切除可能であるが、早期大腸癌に対して、2012年4月に「早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術」が保険収載された。ESDの最大の利点は、詳細な病理組織学的検索による正確な根治度判定ができること、そして病変が完全一括切除されれば局所遺残再発率をほぼ0%にできることである。

講演では、広島GI内視鏡リサーチグループの治療成績からみた広島地区における大腸ESDの現状と残された課題を明らかにしたい。

◆当講演会は、院内外を問わず、医療関係者すべての方を対象とさせていただきます。お気軽にご参加ください。

連絡先 〒737-0023 呉市青山町3番1号
国立病院機構呉医療センター 管理課
TEL (0823) 22-3111 ホームページ：<https://kure.hosp.go.jp>



思いやりのある
やさしい誠実な医療を
提供します

